

## ハナガカシ育苗の経緯

2014 (H26) 年 1 月 20 日に、宝蔵院流槍術保存会より森林技術センターへハナガカシの種まき（播種）、育苗に関して依頼があり、ハナガカシの播種やタネの保存、移植など苗づくりに関わってきました。

2016 年 12 月 1 日にハナガカシを含むカシ林に関する成育管理指導協定締結後、12 月 10 日の記念植樹とその後のカシ苗の植林を経て、50 年にわたる長期の保育管理指導・成長調査を行うこととなります。

### 2014 (H26) 年 4 月 28 日

状況確認：ハナガカシの芽生えの状況確認。カシ根は直根が長く伸びるので、通常では根が鉢の中で巻いてしまい、植林に不向きな形状になる恐れがあるため、梅雨時に植え換えすることになりました。



### 2014 (H26) 年 6 月 28 日

移植指導：発芽した芽生えをタケ筒を利用した鉢に移植しました。



**2015 (H27) 年 2 月 12 日**

播種指導：2014 年秋、九州で採取したハナガカシを播種。

前回は、幼苗をタケ筒に移植しましたが、今回、タケ筒の中に播種することにしました。



ハナガカシのタケ筒への播種

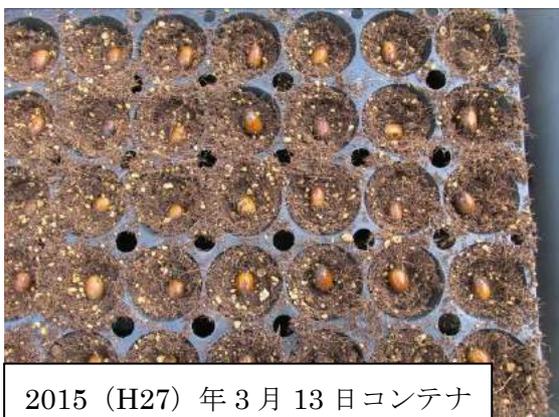


**2015 (H27) 年 3 月 13 日**

森林技術センターでコンテナにハナガカシを播種。

宝蔵院流槍術保存会よりハナガカシのタネをいただき、コンテナに播種しました。

コンテナ苗として植林する予定です。



2015 (H27) 年 3 月 13 日 コンテナ



2016 (H28) 年 5 月 12 日時点でのハナガカシ



**2015 (H27) 年 10 月 22 日**

ハナガカシ苗の植栽場所の選定。ハナガカシは肥沃な土地を好みます。また植栽後、保育・管理のしやすい場所等を考慮して、上牧町下牧の山林に決定しました。植林するには、除伐等、林内整理が必要です。また、搬出のための作業道もつくる予定です。



**2016 (H28) 年 12 月 1 日 15:00-**

奈良県森林技術センターは、槍柄用樫苗の育林・管理・指導について、奈良宝蔵院流槍術保存会会長 花山院 弘匡氏（春日大社宮司）を立会人として、宝蔵院流槍術と「成育管理指導協定」を締結しました。



場所：奈良市春日野町 160  
春日大社 貴賓館

前列 右から  
伊藤 貴文  
奈良県森林技術センター所長  
花山院 弘匡（春日大社宮司）  
奈良宝蔵院流槍術保存会会長  
一箭順三  
宝蔵院流高田派槍術宗家

今回、締結した成育管理指導協定は、460 年余りに渡って受け継がれてきた槍術文化を支えるという側面から単にカシ林の成長を調べるという範疇を超えて、歴史・伝統・文化に直接関わることとなります。槍柄用を目的としたカシ林の育成は全国でも例がないと思われます。また、森林技術センターはこれまで、次代検定林としてスギ・ヒノキ林の成長を

長期に渡って調査をしてきていますが、文化・伝統が背景となる調査は初めてのことで、今後、50年にわたって目的となる槍柄が収穫できるように調査および指導を行っていきます。

### 2016 (H28) 年 12 月 10 日 14:00-

奈良県北葛城郡上牧町山林にて、12月1日に締結された檜苗の成育管理協定によりカシ苗を植林するにあたり、宝蔵院流槍柄用材 檜植樹祭が行われ、森林技術センター所長が出席し、記念植樹を行いました。

植樹祭のあと、宝蔵院流槍術 植樹祭記念演武会が行われました。



(左から 宝蔵院流こども槍術教室受講者代表 中岡真也 地元・下牧自治会長 土井康次 宝蔵院流高田派槍術宗家 一箭順三 宝蔵院流槍術保存会会長 花山院弘匡 上牧町長 今中富夫 山林提供 谷甚四郎 上牧町教育長 松浦教雄 森林技術センター所長 伊藤貴文 上牧町立上牧第二中学校生徒会代表 馬場朋奈 敬称は略させていただきます)



植樹されたハナガカシ



伊藤所長挨拶

今後、順次、カシ苗を植樹した後、試験区を設定し、初期の成長量の調査を行います。